

I R活動の状況

当社は、アナリスト・機関投資家を対象とした決算説明会を年2回（本決算、第2四半期）開催しております。決算説明会の模様については、ホームページ等で動画または音声配信を実施しております。海外の機関投資家に対しては、重要情報の英語でのタイムリーな情報提供に努めております。また、個人投資家向けにはオンライン会社説明会を開催しております。

2022年度

個別面談※	国内	海外	合計
上期	24件	3件	27件
下期	32件	13件	44件
合計	56件	16件	72件

※電話・メールでの照会分除く
相手先は、アナリスト（セルサイド・バイサイド）、
ファンドマネージャー他

2023年度

個別面談※	国内	海外	合計
上期	23件	1件	24件
下期	42件	9件	51件
合計	65件	10件	75件

※電話・メールでの照会分除く
相手先は、アナリスト（セルサイド・バイサイド）、
ファンドマネージャー他

アナリスト向け決算説明会

2Q決算	開催日	11月18日
	参加者	36名
	アーカイブ 視聴者	日：378名
英：51名		
期末決算	開催日	5月19日
	参加者	31名
	アーカイブ 視聴者	日：609名
英：58名		

アナリスト向け決算説明会

2Q決算	開催日	11月17日
	参加者	32名
	アーカイブ 視聴者 ※4月30日現在	日：647名
英：59名		

※当日の様様については、当社HPに公開しております
動画資料並びに書き起こし資料をご参照ください。

動画資料：

<https://c-hotline.net/Viewer/Default/40814faf0a085599cadf48c9d7d2533ae73a>

書き起こし：<https://finance.logmi.jp/articles/379253>

個人投資家向け説明会

上期	開催日	9月21日
	参加者	914名
	アーカイブ 視聴者	749名
下期	開催日	3月24日
	参加者	961名
	アーカイブ 視聴者	550名

個人投資家向け説明会

上期	開催日	9月21日
	参加者	840名
	アーカイブ 視聴者	344名
下期	開催日	3月22日
	参加者	800名
	アーカイブ 視聴者 ※4月30日現在	397名

対話における関心事項

投資家との対話により、業績や中期経営計画、事業動向などさまざまなテーマについてご意見・ご質問を頂戴しております。

①総括

2023年度 第2四半期（2023/10～2023/12）

項目	ご意見・ご質問
業績と評価	<ul style="list-style-type: none">● 第2Q決算の評価と通期見直し<ul style="list-style-type: none">-通期計画に対する進捗評価-販管費減の理由-不採算案件（要因と対策、拡大リスク、リカバリープラン、営業・施工活動への影響）-事業区分別計画値(受注、売上、売上総利益)の変更理由● 足元の受注状況● 外部環境要因(材料・エネルギーコスト高騰、物流混乱、為替変動等)の影響
中期経営計画の状況	<ul style="list-style-type: none">● 中期経営計画目標の進捗状況● M&A戦略<ul style="list-style-type: none">-国際航業の子会社化（事業内容、狙い、シナジー、利益貢献の見通し等）-今後のターゲット● 利益性改善への取り組みと進捗状況<ul style="list-style-type: none">-NTT事業子会社の再編（目的、想定効果）-営業利益目標の達成確度、課題

項目	ご意見・ご質問
中期経営計画の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● B/S面から見た成長戦略 <ul style="list-style-type: none"> - 「キャッシュ・アロケーション計画（2023-2026）」の考え方 - 負債調達余力の見方 - EBITDA（額・率）をKPI化した理由 ● 株主還元 <ul style="list-style-type: none"> - 総還元性向をターゲットレンジ（50%～70%）とした背景 - 今期の追加株主還元（自己株取得枠拡大、増配）の可能性
みらいドメイン	<ul style="list-style-type: none"> ● 足元の受注状況 ● 採算性(グリーンエネルギー事業・ソフトウェア事業・グローバル事業の足元採算性、今後の見通し) ● 国際航業の子会社化（具体的な提携分野、期待する利益貢献）
環境・社会イノベーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> - 不採算案件の影響 - （不採算を除いた）利益の状況 - 利益改善：通期利益(率)計画値の達成確度、来期以降の見通し - 受注好調の要因 - EV充電器設置案件の状況
ICTソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> - 不採算案件の影響 - （不採算を除いた）利益の状況 - 利益改善：通期利益(率)計画値の達成確度、来期以降の見通し - グローバル事業の現況 - 物販事業の現況
通信基盤ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> ● 2Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> - 全体感、通信キャリア別の状況と見通し - 利益率の改善理由、継続性 - NTTモバイル事業の現況 - 楽天事業の見通し

2023年度 第3四半期（2024/1～2024/3）

項目	ご意見・ご質問
事業の状況と評価	<ul style="list-style-type: none">第3Q実績の評価、通期見通し<ul style="list-style-type: none">-業績予想修正の要因(不採算案件)：発生要因、拡大リスク、対策(リスク管理強化策)-達成確度、配当への影響足元の受注状況販管費の状況
中期経営計画 事業戦略	<ul style="list-style-type: none">来期計画の考え方 (不採算再発の可能性、国際航業グループ入りの影響)中期経営計画の進捗状況、評価M&A戦略<ul style="list-style-type: none">-国際航業の子会社化 (事業内容、狙い、シナジー、利益貢献の見通し、買収額の妥当性、資金調達方針、のれん額、PMI課題)-今後のターゲット「B/S面から見た成長戦略」<ul style="list-style-type: none">-キャッシュ・アロケーション計画の考え方-自己資本（額、率）の考え方株主還元方針<ul style="list-style-type: none">-自己株式の消却・追加取得の考え方人財成長戦略 一人財育成・人財流動の進捗状況、社員の反応一建設業「2024年問題」への対応、従業員賃金改定、採用の状況ESGの取り組み(GHG削減、女性活躍促進、役員の多様性等)

項目	ご意見・ご質問
みらいドメイン	<ul style="list-style-type: none"> ● 足元の受注状況 ● 採算性(グリーンエネルギー事業・ソフトウェア事業・グローバル事業の足元採算性、今後の見通し)
環境・社会イノベーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> -不採算案件の影響、再発防止策 -利益改善：通期計画値の達成確度、来期以降の見通し、 国際航業子会社化による利益貢献 -受注好調の要因
ICTソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> -不採算案件の影響、再発防止策 -利益改善：通期計画値の達成確度、来期以降の見通し -グローバル事業の現況 -データセンター事業の現況
通信基盤ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Q実績の評価、今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> -利益率の改善理由と継続性 -今後の受注拡大になりうるトピクス(6G、IOWN構想の顕在化時期) ● NTT事業固定系アクセス子会社の再編

②アナリスト向け決算説明会でのご質問

2023年5月19日開催

ご質問

Q 1

- 環境・社会、ICTソリューションの利益率をどのように改善していくのか
- 西武建設とのシナジーについて、既に出来ていることとこれから取り組むこと

Q 2

- 環境・社会の受注拡大はどのような分野で伸ばすのか
- 再生可能エネルギー事業で、具体的に伸ばそうとしている分野

Q 3

- 今年度重点的に取り組む3分野
(①グリーンエネルギー、②街づくり・里づくり、③キャリア事業の領域拡大) について、
2026年度に掲げている売上目標からのバックキャストでの時間軸イメージ
- 成長分野への人財流動計画で、苦労していること、工夫していること

2023年11月17日開催

ご質問

Q 1

- 国際航業のM&Aについて、経緯と狙い。
- NTT事業の固定系アクセス子会社再編について、
-なぜこのタイミングなのか？、効果はいつ頃からどの程度を見込んでいるのか？

Q 2

- 「街づくり・里づくり」事業のアセットは、今回のM&Aで目途がついたと理解してよいか？
- 2030年に向けて目指す「超・通建」の事業像について
- 「キャッシュ・アロケーション」プラン：事業からあがるフリーキャッシュフローと株主還元の考え方。

Q 3

- 非キャリア事業の収益性（現状の評価と今後の見通し）
- 国際航業のこれまでの株主と当社の違いは？（当社が新たな株主となる強みはなにか？）

Q 4

- 通信基盤ドメインの売上総利益（2Q実績が改善した理由、通期見通し）
- 西武建設の足元状況

③個人投資家向け決算説明会でのご質問

2023年9月21日開催

ご質問

- Q 1 ● 受注は昨年よりも良さそうだが、業績は完全に回復基調に転換したと思ってよいか
- Q 2 ● 東証が要請する「PBR 1 倍割れ対策」について、具体的に考えていることはあるか
- Q 3 ● 人財の多様性、特に女性の活躍促進の進捗状況を教えてほしい
- Q 4 ● 株式優待制度は継続されるか
- Q 5 ● TV広告で、どのような効果が得られたか。今後行う上での狙いはあるか

2024年3月22日開催

ご質問

- | | |
|-----|---|
| Q 1 | ● PBRが1倍を割れているが、どうやって改善していこうと考えているか |
| Q 2 | ● 新たに子会社となった国際航業は、どのような事業をやっている会社か
M&Aをされた経緯と狙いを教えてほしい |
| Q 3 | ● お正月に発生した能登半島地震について、会社としてどのような対応をしているか
また、事業に与える影響はあるのか |
| Q 4 | ● 2020.3期から売上高は年々増加しているが、営業利益は2022.3期をピークにだいぶ下げている
その原因及び具体化な改善策を教えてほしい。 |

経営陣へのフィードバックの状況

定期的にグループ社長会議、取締役会にて経営陣幹部に I R 実施状況、投資家の関心事項、意見についてフィードバックを実施しています。

主な諸施策

① 中期経営計画目標値の設定

- 株主還元を一層強化するため、2022年度より「**安定的な配当成長**」と「**機動的な自己株式取得**」を基本方針とし、総還元性向のKPIを従来の「30%以上」から「50%目線」に引き上げました。さらに2023年11月、基本方針を継続するとともに、成長投資と株主還元の連動性を明確にすることを目的として、**総還元性向をターゲットレンジ（50%~70%）と再設定**、還元強化に努めて参ります。
- 株主目線を取り入れた経営を推進するため、第5次中期経営計画の経営目標では**ROE**と**EPS成長率**を掲げております。さらに2023年11月、M&A実行によりのれんの償却負担が一定程度想定されますので、キャッシュフローの創出能力の指標である**EBITDA（額・率）**もKPIに追加して、フォローして参ります。

② 事業区分別売上総利益率の開示

- 事業戦略・事業動向を適切に把握いただくため、2022年度より3事業区分別（環境社会・ICT・通信）の売上総利益率を開示しております。

③事業説明会の開催

- 新規ビジネスの関する理解深耕を図るため、2022年3月に「ICTソリューション事業説明会」を開催致しました。
- 2023年10月25日～27日の3日間、幕張メッセで開催された「第14回 Japan IT Week秋『IoTソリューション展』」にて合計21の製品やソリューションを展示しました。

<社会インフラ DX・GX>

- ▶ レスキュードローン
- ▶ 水素を活用した未来のまちづくり
- ▶ 冠水センサ
- ▶ AI/機械学習による「水道管劣化予測・影響度評価・更新計画策定」サービス
- ▶ 水道管施工管理システム「photoruction water」
- ▶ 工業用水 IoT ソリューション
- ▶ スマートマイクログリッドシステム

<企業・施設・店舗 DX・GX>

- ▶ オフグリッド電源ポール
- ▶ 長距離・広範囲をカバーする DX Wi-Fi®
- ▶ ミライト・ワン NW ソリューション
- ▶ 脱炭素パーキングソリューション
- ▶ 3D 計測ソリューション「mapry」
- ▶ DX を加速するミライト・ワンのデジタルツイン
- ▶ 統合ネットワークソリューション

<働き方 DX、暮らし DX>

- ▶ ミライト・ワン ホテル、レストラン向け DX ソリューション (eeTaB*® (イータブ・プラス®))
- ▶ ミライト・ワン ホテル、レストラン向け DX ソリューション (temi GO)
- ▶ 電子棚札ソリューション
- ▶ みらいコネクト
- ▶ ドローンスクール (国家資格)
- ▶ イベント会場の設営コストを削減する『イベント DX : 設営計画サービス』
- ▶ ゴルフ場既存芝刈機無人化システム「HerbF (ハーブエフ)」【開発中】

④決算説明会の動画配信

- 決算説明会に参加できないアナリスト・機関投資家に向け、2014年度より決算説明会の動画配信 (日・英) を実施しております。